

久原本『平家物語』について（三）

白石一美

（承前）

本稿は前稿（二）に引き続くところの本文校異一覧表であり、高橋貞一校訂『平家物語 百二十句本』（京都府立総合資料館所蔵本の翻刻）を底本として、その右側に久原みね旧蔵・佐賀県立図書館現蔵『平家物語』の本文を置いて両本を校合した。

その校合の範囲は、前稿が巻第十～十二ゆえ、巻第七～九即ち第六十一句～九十句である。

前稿との変更箇所について

前稿の「校異一覧表」（その一）は同（その二）に結果的に重複するので、前者を省略した。また、前稿の（その二）において異文もしくは（ ）とした箇所については、前回、それらに該当する本文を校異一覧表の後ろに頁を改めて一括掲載したが、今回、本文検索の便と組版のスペースとを勘案のうえ、詞章の短い本文については五段組の一覧表の中に繰り入れ、長詞章分は従前通り別置した。

私家版について

当一覧表は国文研究用の資料を目的に作成している。例えば、仮に京都本に「山」と記され、久原本の該当箇所に「やま」とある

場合（かなづかい法その他国語学的研究上の問題）、当一覧表はこれらを探り集めていない。それゆえ微細なる文字の異同検索上、不備が生ずる。これを補うため、巻第七～十二について別に私家版を作成した。その私家版は巻第七～九が三十頁、同じく巻第十～十二が三十二頁、都合六十二頁であるが、種々の制約からその総てを本学紀要に掲載しえないので、私家版の中、巻第九の尾部一頁（最終頁より起算して第2頁目）を本稿末に付載しておく。この私家版の併用によって本文異同の悉皆調査が可能となる。試みに付載私家版と当一覧表相当部を併せ参照せられたい。

前稿の補訂について

前稿所載の一覧表には追加・削除・誤植訂正など若干の補訂が必要である。これまでに発見し得た箇所については本稿の余白部分に「稿」としてそれらを掲載した。なお、当一覧表と私家版との重複箇所の指示、その他全般的調整は後稿（六）辺りで按配する予定である。

六十一句

三三 5 あり有け 麻 アラゲル

7 じんぐう宮 〇のじんぐわん

16 めぐらめ×され

三三 7 つはもの××

8 と×ぞとそ ねんんは

11 いづの国のK

12 なが井のK

13 ××まいりたり

三三 1 かつさ×の

2 三郎

7 けんもんせいけか

美 一 石 白

六十二句

12 国×K

16 そばだち×××て

17 四はうのみねを

うしろしにし

三四 6 しうそくをかきて

8 ×××ひらひて

10 山×11 給へK

三五 1 せいぞろひしてK

5 大しやうぐんには

6 こそ…:…けれK

7 さきに十郎K

9 わかたれたりK

11 ずれば×××

15 いま井の四郎K

16 くらろがかにK

三三 5 水かひ×

とも×なりK

六十三句

10 しやだんありM

11 これはK

12 まつりたるぞM

13 いまやはた

16 を一ふでかひてK

17 めい×きて

三三 1 まだらぼろのやK

2 ××ひざまづめて

3 これを見てM

ぶんぶ××のM

4 さいじうばうがM

5 しばしはみや×

6 られたり×××K
へんちうを×此

7 かひたりし事×

8 のがれいで×

9 木そ××にぞつき

12 なうそたりM

14 これはM

16 ぼ(う)あくM

三六 1 といへ共しそつK

2 まち××M

あげてたちまち×

5 ぞうそぶ そうべ

6 かうしてより

8 おこして×じ×か

9 きみのために×

10 ためにさぐる

しんかん×

11 ××をくはへK

12 けつし×××K

16 の心

17 へんばんす

三九 1 よだちたりM

6 木そどのかぶとM

7 つき×すぎしと

9 いゝれたるK

11 五十き×いだせK

12 すゝんだるM

14 するをばしらずK

三四 〇 1 まつながのやなぎ

2 かくしたるがK

3 よせむかふM

ぜんご四まんぎが

4 たにもふか×し×

6 へぞおとしけるK

7 さればわれさきに

8 おとしKおとせK

おとすKおとせK

9 あにがおとせばK

おとくもおとす

10 平家のせい七まん

11 大いきてK

15 きこふるつはもの

16 かねやす×M

三四 1 木そどのの給ひM

3 ひみのみなど

5 およがす××K
7 やすめひけるK

9 しのはらへこそK

六十四句

13 さんじのかつせん

15 しのはらを○せめ

三四 9 なのるまじ(※)よ

〔※きぞかたきはきらふまじきぞ〕

16 まいり申けるはK

こそそ 17 きい

17 くらみでうちとつて

三四 2 申せば○あはれK

4 あらんずるに

5 ば○見たり

6 くらびを××一め見

8 を×しのごひて申

10 事×を×をく

三四 1 げのほりて候K

4 せしめ候ひきK

六十五句

11 四月× 五月×

14 とものもうたれ

15 おほくのうほ

17 のこされべきものK

三五四いとま×申M

〔※しゆそものいはす
たうろめをもつてす〕

14ぎ×あらたM

5××ほつにけり

3ために××××M

6ど××のめい×
7うんめいをひらく

7う×ひやうへのすけ
9せうりやうし

(に)をよはず××

6うけ給はつてK

4ほつする×ところ

10××六月

11ぎうと×をがうぶ

六十八句

7おりぐちへM

6なんせいにK

11あくぎやうM

13ちんのくはんぐん

三五一むほん×たひらげ

14ゑのの ださい×

おもむかしめ給ふ

11あくぎやうM

13ちんのくはんぐん

5みの×源氏にM

15まつ×らのこほり

9げん上にむづみ

13かのゆうげつにお

14あらずんば×

うゑもんのかみ

十まんのきうぞく

ふうわうじやう

17りやうねんをK

16しんらのなうそ

7じうめたとりて

三四六二ひうびやくK

13せしむるのあひだ

三六一七だうにほどこす

17そうちうすべし

8どもに×K

3ならして候K

16か(し)うM

2(る)いかのため

5やしるとせん

12ゆへとかやK

6まつ×らかうす

三九一しかればM

3せいぎ×むなしM

6おもふ×これK

13むかはれけりK

六十六句

2くんゆ×をM

4ふくせんM

8いわうぜんせい

14三千よき○く

三三七二井のこやたいげM

3よしなががK

5しゆとら×しん中

9ぞく(て)をM

三三六一まうりななひて

4ずるに×M

4くはだゝいまは

4ふくせんM

10ぼうぎやくK

3へもいら

9にてこそ候すれ

6かのかつせんを

5しゆとら×しん中

10ぼうぎやくK

4べしゆう×によ

12××よしななM

9あくぎやうM

6きうぞく

11いく×どうをん

9と(※)申女あん

あくぎやうM

10ましきかなやM

8十じうのぼんぶう

13じゆゝ次頁7か

〔※よろひの袖もしほる
はかりにて〕

14りよりよつす

11ぎやうてい

14平家これを×しら

三五四7あはれみ給ひ×

10のと×せける

15きやう そんまう

14くうくはをM

6たりこくか

11としごろい

おほく11女あんも

三八一はくろくを○M

16りつし×御ばうM

三三二くにすあぶぐ

12のぞみにもM

14これを×

まつる(※)しかM

三三三御ぐはいせき

そなは×り 国の

12のぞみにもM

17さゝめきあひて

美 一 石 白

三五二まいりて

4 候×はせ

三五六なり。御しよにも

14 わたしたてまつる

いんやく時のふだ

三五三ほつさう まぼら

6 たてまつる M

きた×山のへん K

8 づかさも×× M

10 くもとうざいに M

あかつき×月 K

11 あはたしかり K

12 せんべうとも

あはれけれ M

14 しゆんぜい

三五一たいめんある M

3 おろ×かに M

6 されども K

7 そのさたもなく M

8 候ひし事共× K

9 ほかは×ごする K

12 しゆんぜい
ものちとひらひて

三六一のこゑと せんど

おもひを K

ゆふへのくも

〔以下斯道本ナシ〕

10 大夫つねもりの

つねまさは

ゆうせうにては

12 にんわじどのへ

15 ほかは。御事も

17 御まへにまいりて

三三 4 かぶとを×ぬひで

9 みやこへ

16 そでをひかへて

三三一みつよりの

7 さて××。ざつと

8 はせあつまり

9 たてまつらせ給

10 うけ給はつて

12 そでを×ぬらし

三三五これはむかしの

6 つたへさせ候

14 られたりける
16 めいぶつなり×

〔以上斯道本ナシ〕

六十九句

三四四あたつて× M

5 ま×します(此)

7 一もんの人々 K

三五一たれに×ゆづり M

2 いかにせよと× M

4 これもり×十五 M

6 ければ。しらぬ M

〔か相等部異文〕

8 をかんとし給 K

〔※きて中もんにてよろひきてい〕

12 うちへ××入 K

16 ほかにち 給ひも

三六七とどまらんとす K

きたのかた× M

10 わかれては× M

11 いづれのときは K

かならず K

七十句

三六二しうばうの

3 あらしのをと
きよくふ×ちやう

10 わたたらる

あにはからんや

16 ひきあふて M

三六一をそれに

3 やつばら。とかう

9 女みんの K

11 候へ。いしゆ

しうらん うちて

12 つかひ×のぼる

三六二ども×さこそ×

いまや。〇ノ M

3 ××なげき××候

4 とひらに申され M

8 さいこくへ M

9 さすが× M

10 こまつどの× K

きんだちたちは M

14 つかまつりぬ× M

三七〇一平大×ごん M

4 てん上(人)には M

9 中なごんのりつし

12 山ざきの K

三七二事こそ K

5 山ぼうし× K

三七二心ぼくぞ

6 ぬしはくも井に M

7 せんとばんり

10 ×××こまに M

15 あるべふも

16 ながれをくむも

17 あらず× けにん

あるひーり

三七三 十ぜん×ていわ

5 らうせう××

11 おりなり K

三七四 ちぶさにすだく

5 事×一ツとして M

7 ぎりへだゝつて

8 きよくほ ×しほ

12 日かずをふれば

13 おもふにも K

14 こととひし× M

15 平家×みやこをお

七十一句 卷第八 斯欠卷

三七四 あぜちの

7 なるべけん

8 かゝるあひだ

9 ゐんわは

天だいさんへ

14 てんだいさんへ

15 人々

17 したい

三七六 六千五

9 三人あんの

ゆきいゑよしなか

めして(さきの

12 給りけり

14 あつて

15 くだされ

16 そもいづれの

みやをくらゐに

17 みどころ

三七九 一まいらせて

4 ひまをいだし

6 なつかしげにてぞ

8 なれきに

〔鍋島本 振漢字 馴気〕

まことの

まごにはありける

13 天が七でう

14 なり中しまいりて

ひしほに

16 一人きさきに

三六〇 5どもに

ほつしうじ

9 にし京

なるところ

10 ものにつゐて

14 おこなはれて

15 給(十郎

びごの国を給る

をのきらひ申

16 いよのかみになる

17 衛のじうども

三六一 5みかさのこほり

6 まいらせん

7 はせくだり

9 れんがをして

七十二句

15 かんみんでん

16 しんしく給る

三三二 ち二人のわう

2 二人のみかど

なきかなしみて

3 ぼんぶのとかく

4 正八 おぼえける

7 わうしやの

12 しんさうあり

13 おぼし

御いのり

14 きとうじの一

15 しんわうの

16 しんせい

三三三 一と

2 給ひければ

3 おも

4 わたくし

かへす

5 おりをもつて

ほうそを

7 ひきわけ

8 あらん

12 のちの六ばん

15 たへにして

かたてにも

17 くのけり

〔※とつまよりはなれずしほし〕

三四二 上下めをすます

6 な

10 つたへたり

と

×天しう

14 せさせたてまつり

15 くらゐにも

ある人申けるは

16 べきときたど

さも候は

17 いてう

三三三 五

4 天わうと

7 たてらるゝ事は

10 ださいふにみやこ

13 いひつべし

17 たまがきも

三六一 七日御さんろうの

あかつき

との御むさう

2 けだかげなる

8 あはれさは

9 おもひいづる

14 こひしとよ

16 おもはぬかたの

七十三句

三三七 3 くだされけり

ぎやうぶぎやう

5 うけとり

9 ぶんの国

10 おとこ

けり

身もた

11 なんぢがもとに

くるをばしれども

12 申

かまへて

13 せんは

15 へてゆくかたを

三六五 かさねてはい

10 たかちをの

11 さんして

白石一美

12 これゝ14させて

14 なをば大たとぞ

16 ふしぎなる(も)の

17 つねは申ける

三元九 はん〇ともからは

3 ところやある

6 との給へば〇こ

7 よし〇こしらゑ

8 共(※)なほほど

〔※大じの中にせうじなしととりこめたまつらず〕

9 のじり×二郎

10 としごろの

11 かぶとを×ぬぎ

12 ちから×をよばず

16 大〇しやうこく

ふじのしやうを給

三元〇 一めされしかそれに

2 はなびんごが

3 かがげぢに

7 きこえしかば

9 たけの××じやう

い〇なりければ

10 をがた×三郎

16 われていづれも

17 う()たるみ山

三元三 しのがれけん〇も

4 らいせ×たのみも

7 たねなを〇は

10 かうらい

11 なみ風×むかふて

12 あまのをぶねに

15 いら給へる人にて

三元五 やなぎ×うらにも

だいらつく×るべき

6 ×××よすると

又あまのをぶね

9 これによりて

やしまにへ

11 あやしのたみのや

12 とし〇ふねを

16 むれる×るを

17 ひやうせん

〔※つわものどものよもすがらふね〕

三元三 三(に)ことな×る

けぶりにかはれる

あしびたくや

七十五句

11 よりともは×××

14 つるがおかになち

16 をはん(ぬ)

三元四 2 ××よしあきらが

3 いへのこは

4 一人づゝして

十×人

7 た×そ

8 とは(なのら)で

ほんみやや(を)

9 らんばこ

10 しやきん×百

12 これうじたる

三元五 2 むかひてけり

ひろびさしに

5 平家はよりともが

7 申候〇こそ

11 ゐんぜんをくださ

12 かう××申せと

14 を給ふべきたどし

15 ぞんげとぞ

〔※じしらせで候べき〕

やがてこん日

16 むかひていでられ

三元六 1 さひたる×やを

くらをきむま十三

に×××

2 むまくらよろひ

4 こめををく×××

×××みやこへ

七十六句

9 おはしましけれ

10 ことばのつゞき

11 かぎりなし()

12 おはしたれば

申べき事×候とて

13 きム〇ねこも

14 と申上らうにて

ねこま殿とは

16 えいはひで

ねこどのの

ものよそへ××

三元七 2 いそがせけり

ねの井のこやた

いそぎて

3 てたて××したる

4 まへにも〇すゑ

めす()中なごん

5 しくするやうに

6 おなじけるが

7 めされ給へと

事どもありて

8 こまんゝとも

9 せんといいでたち

なにとなく

10 べからずとて

ほいにとり××

すく11のりぬ

11 にもにずしてわろ

12 平家×うし

16 ひかせたれ

むち×あぶみを

17 かうはつかまつる

こはふ候×て

とぞ…ける

三元六 2 したくや××うし

七十七句

5 おり候なりと申
 いやくくるまの
 6 ×おりたりけり

11 うちとれり木そ
 やすからぬ事なり

三十九

1 のぼり×たるを
 4 を×心うしとは
 5 ともづな××を
 7 た×かふ×とをき
 11 へい四郎
 12 やすからぬ事なり
 17 はぢを×きよめ

いたを××ひき

7 た×かふ×とをき

11 へい四郎

12 やすからぬ事なり

七十八句

四〇六

6 うけたまはり候
 9 ずるにて候と申せ
 10 きやつくなり
 11 りれう××が
 12 むかしの人も
 13 ふううをふせぎ

くらみつの三郎

10 きやつくなり

11 りれう××が

12 むかしの人も

14 よるは夜もすがら
 いねず×××
 くさをからん×

15 したがひけるも
 平家のかたへ

16 せのおを御むま

17 みつ(※)せのおの

太郎×あひぐして

四〇一とてありち×が

2 こふにてぞぬ

3 びつ中の国

5 とり かくりき

8 さんやうだう

三人もちたるこは

10 されて()かり

11 ふくりうじなはて

12 かまへて()まち

17 こそ…つれ

四〇一いま井の四郎うけ
 給はつて()ふな

「※さ候はゞさきに下り
 て見候はんとして」

三千よきにて
 6 くらめかひて
 やだねせう／＼
 7 おちて××

いま井の四郎

13 ふとりて〇一

はたらきえざる

四〇五 おもひ×かへした

8 いま井の四郎(※)

「※まつさきかけその
 せし五十きはかりおめいて」

12 とも()じがい

14 まんじゆがしやう

16 かくりき

十郎くらんど殿

あひだに〇みん

17 おことを候なり

四〇一みやこへ入ると

2 みやこをたち×
 3 さるほどに平家

4 は〇しん中なごん
 ともり()
 一まんよ(き千よ)

6 一日〇8をそれ

7 じやうにぞ

七十九句

13 御りやうをも

はて×は人のくら

四〇五 ちよく〇3はで

5 では〇あしふ候

6 さあらばとぞ

7 めして×おほせ

8 どもをぞめされ

16 うしろを×見せず

四〇六 1 ためしうち申せ

2 せきくはとぢら

3 なにか×ひが事

8 ほつこくへおち

11 のころ六ては
 12 ほうぢう×どの

15 ぎやうじを

16 いくさやすし
 四〇七 3 これを見××て
 天ぐのつゐたりと

4 ともやすよせくる

むかひて れいを

5 むかふてよみけれ

6 ならんからにや

7 いかで×ゆみを

8 なんぢが ど×ぞ

10 はせむかふ(※)

「※かぶらの中にひを入れて
 ほうでうじのべいたてれば」

ひをかけたたり××

(※)みんがたの

つはもの××

12 ぎやうじ×おつる

14 あしを(つき)ぬく

15 なくてものも

17 ける×にしへ
 四〇八 1 おち人×
 2 をそひのいし
 6 みつながどしそく

白 石 一 美

15 とつて×げり
めされて。しゆつ

16 つはもの共みこし
むねながの御とも

四〇九一の給ひ。ける
にをりあはしにて

3 申×らせ×
4 まつる()しゆ

5 のりみつぞ。候
9 源く12いまは

12 をのく×は
たれを×かこはん

13 みなみくゆく
15 むま×ふとく

16 のりたりべしとも
四〇二うたれぬ。三ぎに

3 ×くらんどの
御しよより

4 ゆく×を
5 しうはうたれて

6 くらんどの
7 あなむざんや

8 まつりたるに
11 なをもよも

いまを給へ
い糸のこに()し

12 よりいひて
13 けるが。つ

14 ×くらんどの
15 を×いくさに

たてまつり
16 なかかね。か人も

17 たてまつり
ちかふ候。とて

四二七でうかはらへ
5 まつら×で

8 だいらへ
11 ければ()その

「※此う糸はながくるし
かるべきとて」

13 事を×ぞなる
四三一うちいりてむまの

4 むかひかぶらを
5 六でうかはらへ

10 ならまし

12 とぞいひける
いで

「※イデテ・イデ判別シ難シ」
15 しゆしやうの

四三二いげ
「※ともかたのきやうはじめと
して」

6 さあもとぎなり
7 すけ×し かまの

9 事×うつたえん
のしせつえし

10 みやこへ×のぼる
12 たいかんせむをも

13 ねんぐのみしんを
15 のもとにぞおはし

17 けるは×くない
四四一ふしん×のこるに

との給へば
2 夜を日にして

7 ともやす×
かくりき

11 らずとぞきこえし
12 木そ×つあばつの

と×きこえしかば
14 ぞ申たる

四四二木そ×はかりごと
15 かへりのほり給

八十一句
四四五べから×ざる所

7 ぎこそことよろし
9 すたれぬ。ひの M

おこなはれず K
10 さすが×みやこ M

かくばかりは K
12 なりゆけば M

15 むしづくし K
さま×きう

ありし事も× M
いだ。し

四四一やがてその日
16 ×正月十七日

すでにのぼる
2 さいくつはもの

「※大ききをどろぎうちせした
のはしをひいてぐんびやうた

わけてつかはず K

4 ども×K の国
5 ひぐちの×文

ぬのこるせい K
「※をりふしせいもなかりけ
りせたてへは」

6 せたへむかふ。K
にて。7 むかふ

「※むかふいもあらいへはをち
の」
7 ひもひける
8 ×はかまの

御ざうし
9 ×は九郎 三十よ

10 きこえし×
12 まいつて。こんど

くはんじやに K
しぜんの事の K

14 み()をとぞ K
「※もおとらぬめいばぞ」

四三一わどのまで× M
10 見るほどに M

いく干まんといふ
12 なかに× まさる

15 てぞいできたる K
16 た×が御むまぞ

四三 4 しからずは M

むかつて〔斯無〕

5 さぶらひ × × と

と × お それも ×

6 × × × × とくんで

7 つぶやひて M

心も × ていできた ×

8 おとさん × と M

まつことばをかけた

9 さゝきどの × は M

給ひてげりと M

いひければ M

10 きゝし × × × 物 M

11 さ候ゝ 15 いか

四三一 が × かり M

2 とぞ申 × × ける K

なり × おはりの国

4 かまの御ざうし

6 はんが × の四郎 K

ゆふきの七郎 K

10 同ながの × 三郎 K

12 はたゝ 13 ける K

〔※はしづめにぞをしよせたり〕

14 ながしかけ × × M

四三一 九郎御ざうし ×

2 かは × ばた

おもてを × 見ん

4 はたけ山 × K

5 かまくらどの × K

6 うみかはの

7 たれかはわたして

8 × 十八さいにて

10 たちばなの ×

11 むしやこそ二き K

12 なにも見えね K

15 はるびの × のびて K

16 あぶみをふみ K

17 はせぬけて M

四三五 一むまも M

2 されて × かく ×

いずれ × をとら M

5 おもかげといふ K

8 かちはらは × K

9 はたけ山 × K

10 山だの次郎

11 かは × なか M

12 もせず × つかひ K

わたりつゝ × たり K

13 うしろより M

15 ながされて × M

四三六 二一ど × にとつと M

3 うぢがはも M

4 せぎれて K

8 ながせ × K

9 いくさがみの M

13 さしてぞ × K

14 いくさやぶれに × K

15 どのまづ御つかひ

八十二句

四三七 ちうだ × × よは M

11 はらかききつて M

13 いでられけれ

14 うちいで × 見れば

15 だり × × × × M

四三六 六ひがしの K

7 むしやこそ × K

9 うせはてんと K

14 けん上人も K

14 けれども × K

16 ともに

四三九 2 のしるし K

5 次郎しげよし

はやけ山 M

11 二人のしやてい K

12 をひおとして

13 のほり × おち

14 いと × こともなげ

17 一二千き ×

四四〇 うちか × ため K

2 させ給へり M

八十三句

4 まつり × けたへ

8 けり × かく K

あるべし × M

9 ところ ×

10 ゆく衛 K

11 あひだ × × K

ぶぜい × × につて K

13 きこえしかど × K

14 木ぞ殿は〔斯無〕次

17 ゆうがんまことに

つよゆみ ×

四三五 ゆく × 多の M

はたをひんまき K

6 うちいでのはま

13 にも × あるらん

はた × さしあげ M

16 × × × しぐらうて

〔※斯、深茂テ〕

四三二 うちじにもせめと

木そ()は K

〔※殿その日のしやうぞくに〕

3 うすがねとて × K

からあやおどし

よろひきて()い

5 て × × きこゆる

6 いまは見るらん K

いよのぜんじ K

7 × × × 一でうの K

9 もふでた × ふう ×

木そ三百よきにて

10 あなたへ × かけ M

15 木そ × の給ひけ K

17 くらおしかるべし

四三一 ござを×とぶらひ

2 見せたてまつらん

3 ぢう人になんだの

4 てむずと××K

5 すて×けり

6 じがいしつK

9 おく×させ給ふM

10 よつて×か おもく

11 よのもの××い×や

15 てきふせぎ

16 まくらにこそと×

17 ならべ×かけんと

四三二 1 ゆみやとりはM

7 いま井の四郎K

××三十三にぞK

9 やにはにてき八き

10 きつてまはるにM

11 いとれや〜とぞ

12 すきまをいねばM

木ぞどのは○まつ

13 廿日のくれがたK

うすこほり×

はりたるけるにK

14 はせあひのK

15 はたらかず

ふりあふのき給ふ

16 二郎ためひさK

17 かぶとのまつかう

四三三 2 さしつらぬき×M

3 みうら×いしだの

二郎ためひさK

4 なのりければK

これをきよM

5 これ見よやK

7 ぞ…はかりける

(斯 ソ…ナカリケル)

8 かねみつはK

10 けるがほどこに

11 御じがい×とM

15 二三十きK

16 ひぐちがせい×K

四三四 3 ひぐちの二郎がK

6 もつともさ×いは

7 てにあるときくK

9 うちじにしてM

すはの×××みや

11 てき「2例」とりて

12 人こそなかりけれ

13 ゆみやとりのM

16 此やうを申つかは

きこふるつはもの

17 おしか×××りけ

四三五 1 女ばうたち()K

〔※くきやうてん上人申けるは〕

2 ひをかけてM

4 殿M

5 どの×K

6 あはた「(笑)写カ」

7 六十日のうちK

8 木そ×さまのかみ

11 すいかんのK

13 その一ツなりM

14 ×くにM

15 ごとくに事を

16 さいあひ(のび)M

おかさずぎん

17 てき

四三六 1 いるといふとも

八十四句

5 つたり給ふK

9 うちなびかして

10 うちはせばくて

11 たいせき

14 らんじやうしK

15 むねのせん

16 あかはたどもM

17 ひるがへれば

やけのぼるにM

四三九 1 けり()あはK

〔※平家ふくはらへわたり
たまひて後〕

4 のりもりのしそく

しも津井「2例」K

6 ばらが

7 と×五 おめきて

8 に○せめ かたへ

10 すあひでK

ためきよK

11 をかまえてまつ

12 よせて○一日M

16 ぬたの次郎M

17 をつかけ×M

四四〇 1 つく××××K

9 上ずにて×××K

13 かたにひきかけ

そ×こを「斯其ヲ」

14 かの野をうちもM

四四一 4 きこえしかば

6 せめ給ふほ×にM

7 に○ふせぎやM

8 けれ××ぶんごの国

10 三千よき××K

四四二 1 かんじあはれける

2 かまのくはんじや

4 かへしいれK

6 かたのごとくのK

ぶつじ○おこなM

9 つみで ごとくの

10 そうもぞくも××

11 御返事に×M

14 いつしかK

17 それには○なるM

四四三 1 してなはれける

2 のぼり○みやこに

3 せんしんはK

4 ねんらい「斯、無」

に[×]ありけるが^レは^ナかぜのたよりに^シは

6 しづかならず M

八十五句

12 よすべか[×]りしが

ぶつじを[×]K

15 二てにわか[×]つて M

かまのくはんじや

16 ざたけの太郎 M

四四四 1 かげたか[○]はたけ

2 はんが[×]への四郎 K

3 もりの五郎 K

4 こだまた[×]うには M

6 中むらの五郎

かはらの太郎

7 しうだいの八郎

8 たまの井の四郎

9 四日のこやの

11 むらかみの^{三郎}

12 そのこ[×]太郎

とをひら(※)わた
く「※みうらのすけよしすみ・しそ
へい六びやうへよしむら」

五郎よししげ M

13 さはらの[×]十郎

14 しげつな(※)くま

「※ひら山むしやどころ
しげつで」

15 大かはどの K

17 かたおか[×]の太郎

四五一 六郎しげきよ M

6 平家[○]は[○]こまつ

の中將[○]K

せうしやう[○]K

たんご[○]かみ K

7 〇え見の次郎(※) K

「※もりかたをはじめとして
つがうそのせい」

8 かためたん[×]なり K

9 平家[○]はさやう^シに

10 候はん[×]に平家に

夜うち[×]よから M

12 とぞ申^けたる M

16 しんわう[×]五だ M

四六一 〇[×]いかに M

2 大だい[×]まつは

5 かため[×]らる[×]

11 五百よ[×]人[×] M

13 やしま[×]へ^{ゼン}じ

14 四郎^ニしだい[×]を

16 やぶれ[×]候[×]なり M

四四七 山^ノては[×]に M

3 御へん[×]どの[×]

4 あしだち[×]の K

6 て[○]も^{こはふ}候

13 いくた[×]の[×]り M

14 源氏[×]て[×]そら

17 てをば[×]大事^ノ

四四八 1 られて候[×] K

4 女ばう[×]を[×] M

6 さだめ[○]けれ M

7 やすき[×]心[×]けり

15 し[×]るべからず M

16 かじん[×] M

四四九 7 しんざん[×]へこそ

10 き[×]したかし K

14 あんない[×]しり M

15 おもひも[×]よらぬ K

16 なんど[×]申候[×] K

四五〇 2 候[×]とき[×]此

3 此身[×]はとし[×]おひ[×]

八十六句

11 までは[×]候[×]ける

12 の小次郎[×]を K

16 たれにあ[×]ていふ

17 下人[×]がむま

四五二 2 なごりも[×]こんや

3 かちんのひた[×]れ

5 の小次郎[×]は K

6 かへ[×]たる M

12 一のたに(※)へぞ

「※のし^ノきどぐち」

×[×]よせたり K

17 ける[×]かたき K

四五三 1 むまのあし[×]を M

5 なり[×]だの五郎^ニ

7 なし給[×]ひそ K

9 なかに[×]かけいつて

10 されば[×]なにの K

11 むま[×]をくだり K

12 いひあは[×]せんずる

おもふ[×]たれば K

13 すげなげ[×]に K

うちのびてや[×]がて

さきへ[×]ゆく K

15 つるを(※)一もみ

ものをば[×]どこを

るぞ[×]わたのはと

いふて

四五四 1 きは[×]に M

4 こんとて M

5 かづさ[×]のあく七

7 うしろ[×]に K

8 ほか[×]かたき M

9 よろひ[×]きて K

10 かぶと[×]をば M

11 むま[×]にのる[×] M

14 ばかり[×]して M

16 ひのいづ[×]るほど

四五五 2 ゆんづえ[×]つみて

3 十六[×]さい M

4 かいな[×]らん[×]で

5 見て[×]候[×]ぬ[×]あて

「※久原本、也ノ字体、現行活
字体ヤノ如シ」

7 うちかぶと K
8 ども X
てのムしり
○大をあげて K

きよねんのふゆ K

9 ねをせんぢやう M

12 かげきはなひ M

15 くまんと X M

四三 3 ふるまひ M

6 ひら山も K

8 うへより X X M

そろへ X M

9 あたらず M

10 まれに X M

11 くんできなり K

12 らうど X M

14 いらず 入りぬ

15 山 X だ五郎も

16 次郎 をしよせ X

八十七句

四二 2 かまのくはんじや

3 かはらの「2例」 K

5 ゆるぞかたきを

7 まつらんずると申

10 申さんずる X M

11 一しよに X M

13 ぢ X に いのち X

14 人 X も ぎの X

うちにぞいたり

16 人 X 同 X 次郎

17 げんじ X 大ての

四三 2 事があるべき X

4 いまはいとれや

9 ぎの X くりこえける

10 かはらの次郎

11 くびをとつて M

13 よばはりければ M

16 へい次かげたか

大しやうぐん K

17 さきがけしらたん

四四 1 き(※)ぞとの給へ

〔※よし大しやうぐんおほせ〕

ばへい K

10 せ X かけ(とき)とき

11 ついたちあがり

17 になつて二ぢやう

四五 4 よるぞ X いざやれ

5 かひぐして K

7 五百き X X M

9 をとはいかづちの

10 くびをとるも K

八十八句

15 大てばかりにては

16 こゝをおとさんと

17 おどろき 大しか

二ツ〇一のたに K

のじやうのうち K

おちたりける〇こ

四六 1 たゞいま X X K

2 けれとてさほぐ K

4 とどめ X M

5 いと X めたり

6 やだうないに

7 かたき十人は

よしつね(く)くら

8 をひおとされ M

9 平家くつき K

11 X X よしつね M

むまどもは M

12 はすはおとすぞ M

13 ばかり 人々の

四二 1 一ツた X ても M

3 つぶゐておとす M

7 よりして平家の K

11 のらん X なじか

いだすに X 一人も

12 しづみにけり

13 どもをば〇なぎ M

14 事とはしりながら

16 かみ ふかく X

こんどは K

17 て(※)はりまの K

〔※にしをさしてぞをち給ふ〕

あかし(※) X X お

〔※よりふねにつて さぬきのやしま〕

四三 6 平家のかたには K

あらはれたり K

7 こはもの こはく

13 けれ〇あつ中 K

やすらかにおもひ

14 わきみはたそ

15 いひ X ければ K

16 よとなり X 候はゞ

17 なん十人も K

四三 1 えてたすけ 申

にくひきみが K

申やうや X K

4 さらばとて〇ひき

5 あたり X X K

9 X のりつなをたづ

10 めもはなさずまほ

11 ならば せぬ事は

12 あひだ〇つたち M

15 やがてかたきが K

四四 1 平家のかたに

八十九句

6 さはがでおち M

7 さつまのぜんじに

9 三かたな K

11 さつまのぜんじ K

12 ゆんづえ M

14 の給ひてはてざる

とり(たれども) M

15 たれとも らせて

四五 3 たゞのりを X M

4 ぶげいにも M
 8 も〇すで 来て候
 10 ぎておち こゝに
 11 中じやう〇くに M
 四六 一むちをあげ X K
 6 つけたる X X はた
 8 X すていづくへ K
 16 いふものゝごけの M
 17 こうけんして X M
 四七 二しよにては M
 4 七さい せうせん
 6 いれたりけるが M
 びつ中のぜんじ K
 8 大だちかた X に K
 9 のらんずるに K
 10 ぜんじをば K
 11 X 大夫 こ太郎
 14 X 中なごん M
 15 なりもりは大 K
 17 うたれ給ひけり K
 四六 一ちやく(し) M
 ぜんじ あきら X
 6 くんでおち K

8 ぜんじ X
 13 御むま X K
 14 いころし候はん K
 なに物 X M
 16 したひつつ
 17 おきのかたを M
 四九 5まい月に K
 7 まいり〇て M
 10 われながらもきも
 15 せてを X ぞける
 16 ねりぬぎにつる X
 四七 3しらを くんでお
 5 X 見ればいまだ
 8 おもふ心ぞつきに
 9 ものぞ X とひ給ふ
 12 とき〇しられんず
 13 うたねばとて X M
 14 うちたればとて X
 16 御けうやうを K
 17 あつもりとて〇十
 四三 3をなをばこえだと
 7 九郎御さうしの K
 [以下8項 斯道本無し]

10 つくくもの
 11 一ぼんいん
 12 たゞもりのあそん
 15 むさし〇より
 四三 一かゝりつる X
 2 をとりまさるべき
 4 つかひ〇5せて
 5 せうせん 御ふね
 [以上8項 斯道本無し]
 まつりけり M
 7 がたゝかひ K
 9 なげうち
 10 まつるのところに K
 11 源氏に たげい
 13 らくせい K
 めぐらし〇はたを
 14 きしへたぐる事
 15 くるま M
 16 うばはれ
 17 じたいゑ
 四三 一のころ
 4 ふかふして X
 6 ならざらんや K

のいたらんや
 しかるときんば K
 7 ち〇を 御ぼだい
 8 こうもん
 10 いが X 平ないさゑ
 11 へんちうにいはいく
 12 をひてうたる M
 13 そもくはらく
 14 事をおもふに
 15 かへらん事を
 〇なる K
 16 にんげんのつね K
 17 しやくそんすでに
 四四 1ていかはくちの
 2 しかるときんば
 うちたちしあした
 よりけふの夕 X に
 いたるまで X
 3 つばめきたつて K
 とんでかへれども
 4 よし〇うけ給る
 5 風のたよりに
 をきくやと

6 かんおうをあひ
 7 X X かしながら
 ふるところなり K
 しかれば〇うち
 8 心をくだし K
 9 二たび〇かへり K
 よみがへる
 10 見る事をえんや K
 11 すべからくふきし
 さうめいかい K
 12 〇すれば M
 16 X X X すがへの
 九十句
 四七 14 三 X の わたざれ
 四七 6 X X いかにも M
 8 をも見つぎ
 10 ぞな X かけける M
 11 もや X と二三日は
 15 さしも X いくさの
 17 こめ X たるいろの
 四七 2 日〇れじと M
 3 X X たゞならず M
 いひだしければ

美 一 石 白

- 4 こ××といふK
- 7 だに×おもはまし
- 8 ひらに見ん
- 10 もしも見んも
- 13 たけれ××かき
- 14 給へ 事を申をき
- 15 つづけて○なかれ
- 9 なぎくどぎ
- 10 おちゆく べきと
- 12 いらんとするをM
- 13 はさみおろし
- 14 中なごんのりつし
- かみをそりて×
- かいをぞさづけK

四六十一 御事 K

- 2 人をもそだて
- 3 見まいらせさせ給
- 4 まいらさせ給はめ
- 5 ならひにてK
- どのみちへ
- 9 ちとうちふしつゝ
- 10 ねいりたり
- 12 まよひするかと
- 17 申ければM
- 四六二 1 あり×ければ
- 2 これまたどK
- 7 ねうあん
- めしよせ×K

四六三 ××一め見M

- 5 ××あんへM
- 10 みやづかひし給ひ
- 11 ねうあん ぎよい
- 13 ありけれ共M
- 15 ねうあん
- 16 いつくしふK
- うた×ぞM

- 11 ねうあん ぎよい
- 13 ありけれ共M
- 15 ねうあん
- 16 いつくしふK
- うた×ぞM

- 四六四 1 あり×ければ
- 2 これまたどK
- 7 ねうあん
- めしよせ×K

- 四六五 1 あり×ければ
- 2 これまたどK
- 7 ねうあん
- めしよせ×K

- 四六六 1 あり×ければ
- 2 これまたどK
- 7 ねうあん
- めしよせ×K

- 四六七 1 あり×ければ
- 2 これまたどK
- 7 ねうあん
- めしよせ×K

- 四六八 1 あり×ければ
- 2 これまたどK
- 7 ねうあん
- めしよせ×K

御返事をぞ

- 10 ねうい 給はつて
- 13 いまはたのむ人
- 15 給へば○いとど

本文紀要第六一号(1987・3)所収拙稿
 本文異同一覧表補訂稿

補入()内は補入位置

- 追加
- 五七二 まいらせ
- 五三二 二年
- 五二四 つくり××たる
- 五三三 うたを
- 16 かげの
- 五七七 あの人々
- 五七二 ことも
- 五二六 ちからをよはず
- 五七一 めいぼく
- 五九二 なんととして
- 五三三 10はうへの
- 五三二 2つづけらる
- 五三三 13いもうとむこ
- 四九五 12をくられ(むくノ前項)
- 五二五 5ありけり(こひトあしノ間)
- 五二〇 7どのにて(7行目第2項)
- 五四五 8させよと(8行目第2項)
- 五四六 15ゆふ日に(かゝやゐてノ前項)
- 五二七 7しゆく所へ(7行目第2項)
- 四六四 7あなめ×で(同 右)
- 五九二 9かたへなんど×ぞ(部分補入)
- 五九二 12ふれば(7行目ノ次ノ項)
- 五六一 1こんねんは十二さい(1行目第2項)
- 五三三 2こじの(1行目ノ次ノ項)

三五一 4

けうほうの二たびさかんなる事をよろこび・そうぎ
やうのふるぎに(久原本巻第七二丁目オモテ8〜9行)

三五三 13

さきのない大じんじゆ一ゐたいらのあそんむねもりきん上
ざすそう正御ばうとぞかい (三十オモテ10ウラ2)

三六四 5

やしや御ぜんとて八にならせたまふひめ君まします
(四三オモテ3ウラ4)

三七八 9

木曾はあかぢのにしきのひたゝれに・ひをどしの
よろいきて・いかものづくりのたちをはき・廿四さしたる

大中ぐろのやをい・しげとうのゆみわきばさみかぶとをぬ
きたかひぼにかけて候・十郎くらんどもはこんぢのにしきの
ひたゝれに・ひをどしのよろひきて・こがねづくりのたち
をはき・大中ぐろのやをいぬりごめどうのゆみわきにはさ
み・かぶとをぬきたかひぼにかけてひざまづいて候ひける・

三七九 14

けんれいもんゝあんのいまだ中宮にてをせしとき
(巻第八 二ウ6〜三オ2)

三八〇 15

そのかたに
(四ウ5〜6)

三八八 12

はゝかたのおほぢ大たゆふそだ
(六オ3〜4)

三九〇 17

たゞきうとのくわんかうとのみぞいのゝられける・
(一六オ2〜5)

三九六 11

ことほりかな二さいの年
(一九オ6〜7)

三九七 4

よりしなのゝ国木曾といふ山ざとにて三十まですみ
(二六ウ1〜3)

三九七 10

なかはははれのゝときのかうしなり
(二七ウ1〜3)

三九七 10

急ぼしかりきぬのはかまのすそまゝでもかたくなきてい
(二八オ2〜3)

四〇〇 10

給ふしんびうなりとぞの給ひける
(二二ウ6〜7)

四〇一 10

あるひはかきのひたたれぬのゝこそであつまをりした
(三二ウ6〜7)

はらまききて・ふるゝゑびらにやどもせうゝさしかきを

いゝかねやすがもとにはせまいる
(三三オ4〜7)

12

くち二ぢやうふかき二ぢやうにみぞをほら
せきかも木ひきてたかやぐらかいて・やじりをそろへてい
まやゝと (三三オ9〜ウ1)

四〇三 12

しうゝにおとらずたゝかいけるが・大じのてあまたをいつかれ
ければ
(三六オ7〜8)

四〇四 4

ほん三ゐの中將しげひらきやう・さぶらい
大しやうには多つ中の二郎兵衛もりつぐ・かづさの五郎
びやうへたゞみつ・あく七びやう衛かげきよをはじめと
して (三七オ5〜8)

四〇四 6

おめいてかゝるゑ
つ中の二郎ひやう衛もりつぐしばしあひたゝかふやうに
もてなして中をきつとあけてとをす・二ぢんにいがへい
んないざへもいゑながをなしくあけてとをしけり・三ぢん
にかづさの五郎兵衛あく七びやうゑともにあけてとをし
けり・四ぢんにほん三ゐの中じやうしげひらきやうこれも
あけてとをしけり・一ぢんより五ぢんにをよびかねてや
くそくしたりければ・てきを中にとりこめてせんご

四〇四 6

より一どにときをとつとぞつくりける・十郎くらんども
いまはのがるべきかたもなかりければ・いのちもをします
おもてもふらずこゝをさいごとふせきたゝかふ・平家の
さぶらいども源氏の大しやうにをしならべくめやゝ
といひけれどもさすが十郎くらんどもにしならべてくむ
むしや一きもなかりけり・しん中なごんのむねとたのまれ
たりけるきの七ざへもん・をなしく八ざへもん・おなしく
九郎などゝいふ一人とうぜんをつわものども・そのところ
にてみな十郎くらんどもにうちとられ・かくして十郎く
らんど五百よきがわづかに三十きばかりにうちなされ・
四はうはみなてきなりいかにしてのがるべきとはおほへね
ども・おもひきつてうんかのごとくなるてきの申をわ
つていづ・されどもわが身はてをわすれぬのこらう
どう二十よ人大りやくてをいて・はりまの国たかさこ
(三七ウ1〜三八ウ3)

四〇九

のみに候あふみのかみなかかげ・そのせい五十ぎばかりにてほうでう寺殿のしものもんをかためてふせぐところに・あふみげんじ山もとくわんじやはせきたつて・

四〇九13

てきの大ぜいの中をやぶつていづ・たゞしうじう八きにうちなされて・八きが中に

四一〇

あんとんしんわう九だいのこういん・しなのまかみななかしげがしなん・

四一〇12

なかよりしやうねん二十七さいわれとおもわん人々はよれやけん／ざんせんとて・

四一〇14

是をばゆめにもしらず・あにかわちのかみらうどう一きうちぐして・しうぜう三ぎ

四二〇

すけよりも・きそのらうぜきをしづめんとてすまんぎの大ぜいをさしのぼせけるが・すでにみの・いせへつく

四二二

うちわらふてやとのたまはらぬぞ・うち川わたすべき馬もたず・御ひさうの御馬なれば申ともよもたまはらじ

四四四

ありもり・ひつ中のかみ／もろもり・たんごのじゅうた

四五二

なりたが馬は我むまよりもよわけなる物／をとめをかけ

四六〇

じやうくわくをはるかに見をろしてをはし／けるが

四六四

よひてきとめをかけて・むちにあふみをあわ

四六四7

せてをつかけ奉る・そも／いかなる人にてましますぞな

四六四7

のらせ給へといひければ・是はみかたとてふりあをのき

四六四7

給へるうちかぶとより見入たればかねくろなり・あはれ

四六四7

みかたにかねつけたる人はないものを・平家のきんだち

にてましますにこそとおもひて (五九ウ6／六〇オ1)

部分訂正

四六12 わね ↓ × わね

四八8 ↓ ↓ ↓

四九14 こいて ↓ こそ

五〇16 ま □ こ ↓ ま で こ

五五15 × × 奉 ↓ 奉

五七9 × × × と ↓ × × × と

五九5 廿三 ↓ 廿三

五五10 はつ ↓ ばつ

五三7 てこそ ↓ てこそ

五七12 あめ ↓ あめ

五三4 みちしるべ ↓ みちしるべ

(しるへト解説シ得ルモ稍苦シ

しなんノ如シ 斯 指南)

六〇15 夫 ↓ 夫

六〇15 し ↓ し 13 × ば ↓ × ば

六三11 ど ↓ ど

六三2 せ ↓ せ

六三2 ぞ ↓ ぞ

(六四頁) 三四 ↓ 三四3

六三17 × ↓ ×

六三7 × ↓ ×

六三3 かうぶり ↓ かうぶり

六三8 おち ↓ おち

削除

五三2 こと K

(第2項ノ全文)

五七7 下段ノおも云々ヲ削除

五九9 から以下ヲ削除

六〇2 第1項御なみだ云々ヲ

削除

移動

「五五2」ヲ前項へ一行分移動

(昭和六二年九月三十日受理)

追記 誤植訂正

本学紀要第六二号所収拙稿

三五頁上段1行目元安 ↓ 安元

三六頁下段6 () ↓)

三八頁下段1 敵島敵島 ↓ 敵島

四四頁下段15 解説 ↓ 解説

四四頁註(38) 広新 ↓ 広新

じ、をなし、10はうおん、を、11きおん、を、ひきし、く、さう、へ、の、次、郎、の、は、こ、殿、を、
 第九十句、475頁、3たてまつり、15じゆゑ、ひと、踊、濁、か、し、7みやこ、都、お、は、り、を、
 がくれゆく、か、い、ま、だ、た、6たかひにいきまじにを、か、し、あ、は、ち、殿、の、は、り、を、
 10いろ、色、う、す、く、れ、な、る、ぐ、11だぢまのかみ、た、15殿、ど、の、これ、是、476頁、2く
 夫、大、み、や、こ、に、都、い、る、入、14みやこ、都、中、将、じ、や、う、な、か、中、の、は、り、を、
 らし、暮、み、ち、盛、も、り、さ、ぶ、ら、ひ、い、ぐ、ん、だ、ご、3まいり、参、な、か、中、の、は、り、を、
 らのげんざう、に、ん、木、源、三、5候、ひ、つ、る、候、つ、つかまつるべふ、う、6候、ひ、つ、る、候、つ、
 われ、我、に、は、わ、7と、ころ、所、は、わ、16みやこ、都、か、ひ、な、く、れ、し、お、い、で、た、る、出、
 る、有、か、な、し、み、け、る、ひ、5に、は、わ、の、ち、後、ふ、ね、舟、す、ま、る、お、は、せ、ん、を、な、ん、ど、と、
 お、は、せ、を、わ、477頁、1われ、我、に、は、わ、の、ち、後、ふ、ね、舟、す、ま、る、お、は、せ、ん、を、な、ん、ど、と、
 もの、物、よ、世、わ、す、れ、が、た、み、か、見、6うへ、の、ち、後、ふ、ね、舟、す、ま、る、お、は、せ、ん、を、な、ん、ど、と、
 こ、の、ち、の、よ、後、の、世、8う、ち、見、ん、か、む、思、ひ、お、も、10く、さ、の、か、げ、草、ひ、見、ん、と、む、
 13あるぞ、有、そ、くだり、下、あり、が、た、日、16は、か、踊、濁、し、ふ、う、の、給、は、奉、り、給、べ、
 ち、後、申、を、き、お、お、な、ん、ど、と、14みやこ、都、た、て、まつ、り、給、へ、奉、り、給、べ、
 17ちひろ、い、お、ぼ、え、て、へ、と、た、か、た、み、見、ふ、の、給、は、奉、り、給、べ、
 たま、み、ち、道、六、だ、う、た、478頁、2そ、だ、の、と、給、は、ん、ず、ら、ん、た、ま、の、給、は、奉、り、給、べ、
 6しづませ、た、れ、ば、つ、は、給、は、ん、ず、ら、ん、た、ま、の、給、は、奉、り、給、べ、
 ぐせられ、く、申、け、れ、ば、は、給、は、ん、ず、ら、ん、た、ま、の、給、は、奉、り、給、べ、
 もしふ、う、お、ぼ、え、て、ほ、は、給、は、ん、ず、ら、ん、た、ま、の、給、は、奉、り、給、べ、
 いるさ、入、13あ、ひ、や、ご、あ、い、で、給、へ、出、11か、い、じ、や、う、な、れ、ば、し、女、ば、う、は、い、づ、ち、つ、
 ま、こ、ぎ、わ、た、る、は、17ね、う、ば、う、女、479頁、1お、ど、ろ、き、を、て、手、3お、り、て、を、
 よ、4物、もの、む、ら、く、も、雲、か、づ、け、ど、も、つ、げ、5か、づ、き、あ、げ、た、れ、共、つ、ぎ、ど、も、
 き、ぎ、6い、り、給、へ、り、く、入、か、ひ、い、は、7て、手、た、て、まつ、り、お、ひ、た、る、い、ぢ、
 くだり、下、か、ひ、い、う、き、め、を、ば、い、は、9け、れ、共、だ、も、い、き、も、た、え、て、へ、こ、と、
 を、きた、て、まつ、る、お、い、12つ、ゞ、あ、り、が、た、か、り、有、ち、う、し、ん、じ、く、ん、二、ぐ、ん、ろ、て、い、ぢ、
 を、ども、共、16あり、が、た、か、り、有、ち、う、し、ん、じ、く、ん、二、ぐ、ん、ろ、て、い、ぢ、よ、り、や、う、ふ、
 両、480頁、1こと